

理事長・学校長殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田益和

公印省略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
平成25年度「中堅教員研修カリキュラム実証講習会Ⅱ」(専修学校教員研究協議会事業)
①『新任指導力(組織コーチング、メンタリング)』及び
②『リスクマネジメント(クレーム対応)』
開催のご案内

秋涼の候、校務ますますご繁忙のことと拝察申し上げます。

さて、本財団では、平成24年度より文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「**中堅教員研修カリキュラム**」の研究・開発を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度の能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教員の育成を目的としたものです。(カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、6・7頁をご参照ください。)

この度、現在研究・開発中の当該カリキュラムのうち、①中堅教員が新任教職員を指導・育成する力を高めることを目標とする科目『新任指導力(組織コーチング、メンタリング)』と、②クレームの基本概念を理解し、専修学校におけるクレームの諸問題への対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けることを目標とする科目『リスクマネジメント(クレーム対応)』の2科目につきまして、実証講習会として開催し、両科目のプログラムの有用性等について、広くご参加者の皆様のご意見を賜りたいと考えております。

今秋11月27日(水)～28日(木)の2日間にわたり、『**新任指導力**』8時間と『**リスクマネジメント**』4時間を合わせて計**12時間**の研修プログラムとして実施いたします。

『**新任指導力**』及び『**リスクマネジメント**』の両科目受講、またはどちらか1科目のみの受講を選択頂けます。詳細は実施要項をご参照頂き、是非、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

参加を希望される方は、同封の受講申込書に必要事項をご記入の上、11月13日(水)までに下記へファクシミリにてお申し込みください。

[お問い合わせ・お申し込み先]

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>
(Association for Technical and Career Education)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

平成 25 年度「中堅教員研修カリキュラム実証講習会Ⅱ」実施要項

【1. 主催】

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）

【2. 科目名】

①『新任指導力（組織コーチング、メンタリング）』及び②『リスクマネジメント（クレーム対応）』

【3. 内容・目的等】

※今年度は、本研修カリキュラムを現在研究・開発中でありますため、参加された皆様から率直なご意見、ご感想等をお聞かせ頂きたく存じます。何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。（なお、実証講習会の記録として、2日間にわたり研修風景のビデオ撮影を行います。撮影した映像を報告資料等として使用する場合は、個人が特定されないように編集させていただきますので、ご了承の程お願いいたします。）

①『新任指導力（組織コーチング、メンタリング）』

中堅教員の新任教職員に対する指導・育成力を高めることを目標とします。新任教職員に求められる能力を中堅教員自らが実践でき、そのことを前提として、新任教職員の人材育成に関して適切な助言が行えるようにします。

具体的には、

- ・管理力／職務執行者としての実践力
- ・新任指導育成のための目標管理力／新任の能力を引き出すための組織コーチング力、メンタリング力
- ・管理監督者として必要なマネジメント力

などの能力について身に付けることを目的とします。

②『リスクマネジメント（クレーム対応）』

クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知ること、専修学校におけるクレームの諸問題への対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けることを目標とします。また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS（顧客満足度）改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とします。

特に、クレーム対応についてロールプレイングを交えて実践的に演習を行う予定です。その際の題材については、受講者の方々より具体的な事例を提供頂きたいと考えております。学生・保護者・就職先企業・近隣等からのクレームについて、実際に直面した事態や、今後起こり得ると想定される状況等を「受講申込書」の所定欄にご記入ください。（なお、研修時間等の都合上、ご記入頂いた事例のうち、幾つか代表的・共通的な事項を選んで研修内で取り上げさせて頂く場合がありますことを予めご了承ください。）

【4. 日時】

①『新任指導力（組織コーチング、メンタリング）』

平成25年11月27日（水） 13:00～18:30（5.5時間）

11月28日（木） 9:00～11:30（2.5時間） [計8時間]

②『リスクマネジメント（クレーム対応）』

平成25年11月28日（木）12:30～16:30 [4時間]

※「①新任指導力（8時間）+②リスクマネジメント（4時間） 計12時間」または「①あるいは②どちらか1科目」を選択の上、お申込みください。

【5. 会場】

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟研修室
東京都渋谷区代々木神園町3-1 (<http://nyc.niye.go.jp/>)

【6. 対象】

専修学校の中堅教員（目安：勤続5年程度）

【7. 定員】

30名

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

※満席時には、本財団ホームページ上でお知らせいたします。

【8. 申込方法】

5頁の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

⇒ FAX送信先 : 03(3230)2688

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団） 事務局 総務課宛

【9. 申込期日】

平成25年11月13日（水）

【10. 受講料】

受講科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
①新任指導力+②リスクマネジメント (計12時間)	1名 13,500円	1名 27,000円
①新任指導力のみ(8時間)	1名 9,000円	1名 18,000円
②リスクマネジメントのみ(4時間)	1名 4,500円	1名 9,000円

※「TCE財団の都道府県支部」は8頁の別表一覧のとおりです。

(別表は、本財団ホームページに掲載の定款施行細則においてもご確認頂けます。)

※交通費・宿泊費・食事代は含みませんので、各自でご手配ください。

※お申込みと同時に下記口座にお振込みください。研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。

※受講料の返金はいたしかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

みずほ銀行 九段支店（普通）2386904 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
(振込手数料は貴校にてご負担ください)

【11. 修了基準】

『新任指導力』（8時間）及び『リスクマネジメント』（4時間）それぞれについて、各科目所定の研修時間を全て受講された方につきましては、本財団より「修了証」を発行いたします。

本財団では、中堅教員研修カリキュラムの研究・開発完了後、平成27年度より、「中堅教員研修」としての全科目の正式実施、修了認定を予定しています。特に、中堅教員認定に関しては、“研修修了時間に応じたポイント制”の採用を予定しています。今回の研修は実証講習会として実施いたしますが、中堅教員認定の対象となる研修時間に含めさせていただきます。

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
平成25年度「中堅教員研修カリキュラム実証講習会Ⅱ」(専修学校教員研究協議会事業)

①『新任指導力(組織コーチング、メンタリング)』
タイムテーブル(予定)

- ◆講師 : 株式会社CRI 中央総研
専務取締役、チーフコンサルタント 高木 達也 氏
- ◆開催日 : 平成25年11月27日(水) 13:00~18:30
" 28日(木) 9:00~11:30
- ◆会場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟研修室

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 1. 「中堅教員の役割とは何か」 2. 「管理者としてのマネジメント(方針・目標管理の仕方)」 3. 「コーチング・メンタリングの有効性」 4. 「やる気づくりのチームマネジメント」
18:30	初日終了
(2日目) 9:00	2日目再開 5. 「コーチングとメンタリング」 6. 「コーチング・アプローチ」 7. 「コーチング実践演習」 アンケート
11:30	閉会

②『リスクマネジメント(クレーム対応)』
タイムテーブル(予定)

- ◆講師 : 学校リスクマネジメント推進機構
西嶋 健二 氏
- ◆開催日 : 平成25年11月28日(木) 12:30~16:30
- ◆会場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟研修室

予定時間	予定内容
12:15 12:30	受付 開講 1. 「危機管理及びリスクマネジメントのポイント」 2. 「クレーム対応の知識・技術の原則」 3. 「人間関係を円滑にするための技術(4つのポイント)」 4. 「クレーム対応ロールプレイング」
16:30	アンケート 閉会

* 事情により変更となる場合があります。実施要項、タイムテーブル等に変更が生じた場合は、本財団ホームページ上でお知らせ致します。

平成25年度 中堅教員研修カリキュラム実証講習会Ⅱ 受講申込書

- <①『新任指導力（組織コーチング、メンタリング）』
- ②『リスクマネジメント（クレーム対応）』>

<申込期限：11月13日（水）必着>

都道府県名 _____

学校名 _____

ふりがな

受講申込者 氏名 _____

部署・役職名等 _____

性別： _____ / 年齢： _____ 歳 / 専修学校教員勤続年数： _____ 年 月

※勤続年数は「常勤・非常勤」又は「専任・兼任」の期間の通算をご記入下さい。

企業・施設等での実務経験年数： _____ 年 月

※実務経験年数は教員採用後の短期的な実務研修期間も合算してご記入下さい。

e-mail _____ @ _____

学校電話番号 _____

受講料

↓該当されるもの1つについて、□にチェックをお付けください。

受講科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
①新任指導力 +②リスクマネジメント両方	<input type="checkbox"/> 1名 13,500円	<input type="checkbox"/> 1名 27,000円
①新任指導力のみ	<input type="checkbox"/> 1名 9,000円	<input type="checkbox"/> 1名 18,000円
②リスクマネジメントのみ	<input type="checkbox"/> 1名 4,500円	<input type="checkbox"/> 1名 9,000円

※受講料はお申込みの学校名にてお振込ください。

法人名にてお振込の場合は、下記に法人名をご記入ください。

(学校法人名： _____)

振込予定日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ご利用銀行 _____ 銀行 _____ 本・支店より

(振込手数料は貴校にてご負担ください)

※②「リスクマネジメント」受講申込の方

学生・保護者・就職先企業・近隣等からのクレームに関して、実際に直面した事態や、今後起こり得る状況等の事例をご記入ください。記述欄が足りない場合は、別紙に記述して頂いても構いません。

※ご提供頂いた個人情報、研修開催前後の事務連絡、研修時のグループ分けの為に利用させていただきます。

※講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【お申込先】(送付状は不要です。本紙のみお送りください。)

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局 FAX: 03 (3230) 2688

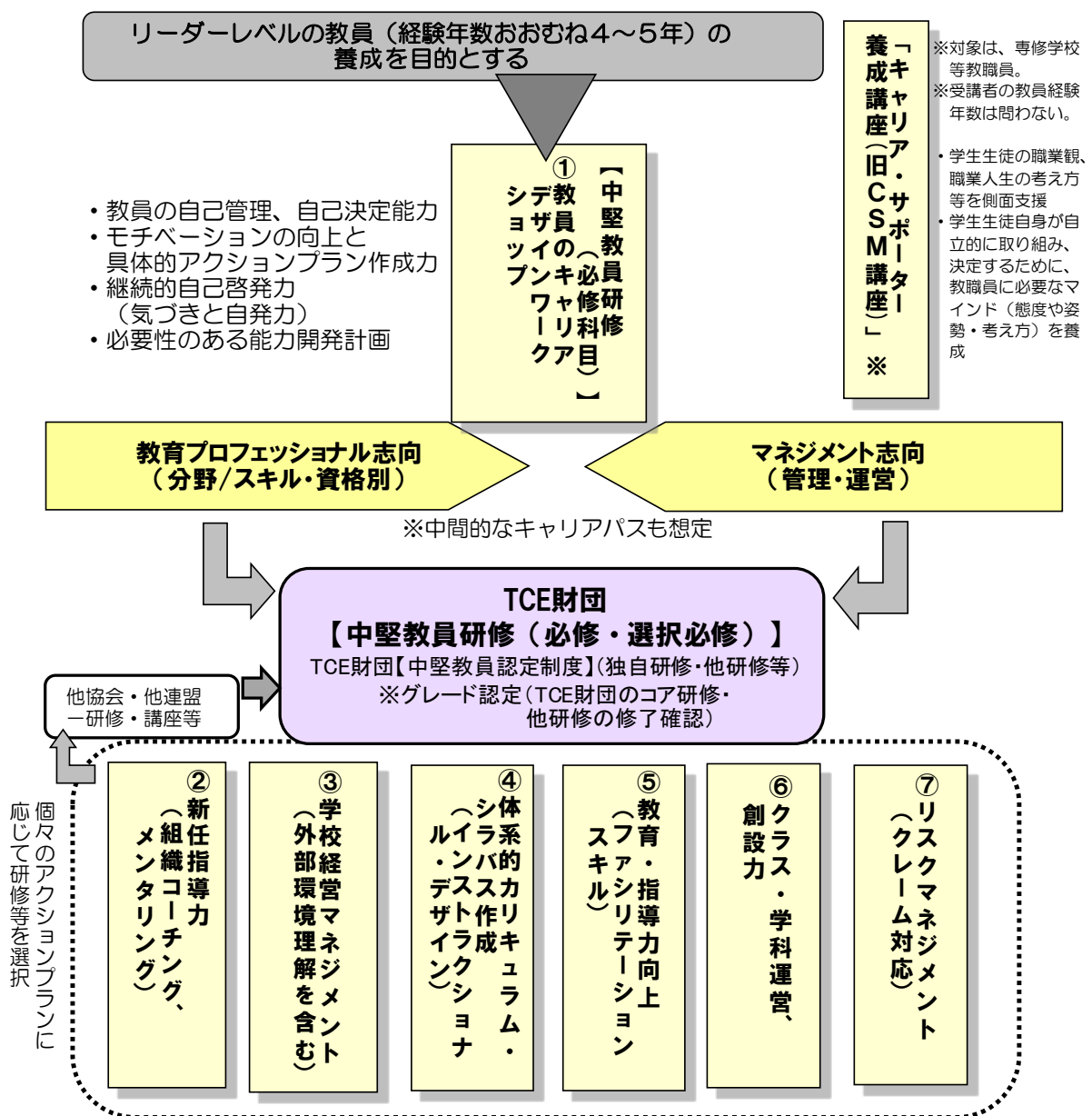
中堅教員研修 カリキュラムの内容

※本財団の平成24年度「専修学校中堅教員研修カリキュラムの開発に関する研究」報告書（平成25年3月発行）より抜粋。本報告書PDF版を本財団ホームページの「ダウンロードセンター」に掲載しております。

1. 考え方と構成

(1) 中堅教員研修は、「①教員のキャリアデザインワークショップ（必修科目）」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑦（必修＝②・選択必修＝③～⑦）を用意。

(2) 将来、(1)以外の他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講（継続的能力開発）を奨励し、修了した研修をもって中堅教員のグレードの認定を実施。



2. 科目一覧 (案)

	科目名	時間	・ <キャリアパス> ・ 研修の概要と目標
①	教員のキャリアデザインワークショップ	24	<p><キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向></p> <p>専修学校教員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、更に教育指導力を高め、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等の教員自らのキャリアパスについて、自立的な将来設計を行い、計画に基づくアクションプランニングを行う。また、本科目修了後に受講する他の中堅教員研修科目をどう選択していくかを行動目標に盛り込むようにする。</p>
②	新任指導力(組織コーチング、メンタリング)	8	<p><キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向></p> <p>新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。新任教職員に求められる能力を自分が実践でき、そのことを前提として、新任教職員の人材育成に関して適切な指導助言ができる。</p> <p>具体的には、「管理力/職務執行者としての実践力」「新任指導育成のための目標管理能力/新任の能力を引き出すための組織コーチング力、メンタリング力」「管理監督者として必要なマネジメント力」等の能力について力をつけることができる。</p>
③	学校経営マネジメント(外部環境理解を含む)	12	<p><キャリアパス：マネジメント志向></p> <p>専修学校は、そのほとんどが設置主体は学校法人であり、主たる収入は、学生生徒等納付金収入によるところが多い。また我が国の経済の長期低迷動向を受けて実学志向、また資格志向により、専門職業人育成の社会的要請は高く、また、大学等の学校種間・学校間競争は今なお増加しつつある。その中で各種統計データを待つまでもなく、2018年度以降さらなる18歳人口が減少するという厳しい環境がある。この状況下で、中堅教員がいかに学校経営に参画するのが、今大きく問われている。さらにコンプライアンスや内部統制組織の充実の要請、自己点検評価の実質化、学校関係者評価・第三者評価等、学内学外の経営にかかる諸問題について対応力を高め、中堅教員としてふさわしい経営感覚と問題解決能力を身に付け実践能力を高めることの重要性が叫ばれて久しい。本科目を受講することにより、学校経営の概観を把握でき、優れた「経営感覚」が身につくようになるだろう。</p>
④	体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナル・デザイン)	8	<p><キャリアパス：教育プロフェッショナル志向></p> <p>より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン(ID)がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。</p>
⑤	教育・指導力向上(ファシリテーションスキル)	8	<p><キャリアパス：教育プロフェッショナル志向></p> <p>ファシリテーションは、「容易にする」「円滑にする」「スムーズに運ばせる」という原意が示すとおり、問題解決や合意形成を促進する技術としてアメリカから紹介された。主に体験学習やワークショップなどのグループ活動に適用する手法であり、話し合いを促進する、メンバーの相乗効果を発揮する、自律性を育むなどの効果が期待できる。その応用範囲は多岐に渡るが、教育現場の適用事例も数多く報告されている。</p> <p>本研修は、教育現場への適用を想定し、ファーストステップとして概論としての意義づけ、セカンドステップとして実践スキルの習得を目指す。</p> <p>「①ファシリテーションによる授業の活性化について、ファシリテーションを導入する理由、その方法・効果を説明できること」「②ファシリテーターに必要な知識・スキル・マインドを説明できること」「③上記①②の講義、実践で得た知識・スキルを活用して、授業の中で取り入れ効果を測ること」を目標として実施する。</p>
⑥	クラス・学科運営、創設力	4	<p><キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向></p> <p>これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。</p> <p>そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。</p> <p>さらに、新学科創設のための基本的な手順、手法を身に付ける。</p>
⑦	リスクマネジメント(クレーム対応)	4	<p><キャリアパス：マネジメント志向></p> <p>中堅教員として、リスクマネジメントに関わることは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない(その中でも最も重要なのは「顧客(学生・ステークホルダー)の心情を理解してふるまう」ことである)。</p> <p>本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けられることを目標とする。</p> <p>また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS(顧客満足度)改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。</p>
	計	68	

別表一覧 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）の支部

県	都道府県名	名 称	電話番号
1	北海道	公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	011.242.1955
2	青森	青森県専修学校各種学校連合会	017.728.0145
3	岩手	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	019.624.8600
4	宮城	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会	022.211.7157
5	秋田	秋田県専修学校各種学校協会	018.832.5437
6	山形	一般社団法人山形県専修学校各種学校協会	023.641.2323
7	福島	(社) 福島県専修学校各種学校連合会	024.521.1425
8	茨城	(社) 茨城県専修学校各種学校連合会	029.221.8771
9	栃木	一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会	028.643.6920
10	群馬	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会	027.255.6861
11	埼玉	一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会	048.865.2195
12	千葉	(社) 千葉県専修学校各種学校協会	043.243.3147
13	東京	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	03.3378.9601
14	神奈川	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会	045.312.2221
15	新潟	一般社団法人新潟県専修学校各種学校協会	025.222.8798
16	富山	一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会	076.442.1858
17	石川	一般社団法人石川県専修学校各種学校連合会	076.264.3991
18	福井	一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	0776.91.1601
19	山梨	(社) 山梨県専修学校各種学校協会	055.235.8861
20	長野	一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会	026.235.3353
21	岐阜	岐阜県専修学校各種学校連合会	058.271.5076
22	静岡	公益社団法人静岡県職業教育振興会	054.251.2335
23	愛知	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会	052.957.1392
24	三重	三重県専修学校各種学校連合会	059.229.4070
25	滋賀	滋賀県専修学校各種学校連合会	077.525.4572
26	京都	一般社団法人京都市専修学校各種学校協会	075.344.2330
27	大阪	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	06.6352.0048
28	兵庫	(社) 兵庫県専修学校各種学校連合会	078.391.7010
29	奈良	奈良県私学専修学校連合会	0745.23.0099
30	和歌山	一般社団法人和歌山県専修学校各種学校協会	073.423.9770
31	鳥取	一般社団法人鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会	0857.29.4266
32	島根	一般社団法人島根県専修・各種学校連盟	0852.23.5548
33	岡山	(社) 岡山県専修学校各種学校振興会	086.226.7198
34	広島	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟	082.227.8210
35	山口	一般社団法人山口県専修学校各種学校協会	083.924.0239
36	徳島	一般社団法人徳島県専修学校各種学校連合会	088.653.3155
37	香川	一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会	0877.41.2380
38	愛媛	一般社団法人愛媛県専修学校各種学校連合会	089.935.4510
39	高知	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会	088.850.0200
40	福岡	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会	092.292.6104
41	佐賀	佐賀県専修学校各種学校連合会	0952.26.8311
42	長崎	(社) 長崎県専修学校各種学校連合会	095.844.1378
43	熊本	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会	096.372.6444
44	大分	(社) 大分県専修学校各種学校連合会	097.544.4666
45	宮崎	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会	0985.29.5288
46	鹿児島	一般社団法人鹿児島県専修学校各種学校協会	099.254.0639
47	沖縄	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会	098.858.7070

※会員加入・未加入状況等に関する最新情報につきましては、上記協会等へ直接ご確認ください。